2021-2022 国際ロータリーテーマ
“奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために”
RI 会長　シェカール・メータ

2021～2022 年度

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH
越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日　12:30～13:30
例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
T E L　048(975)9898
F A X　048(977)3741
創　立:1976 年 5 月 11 日

会　　長：中 澤 伸 浩
副 会 長：吉 澤 晴 雄
幹　　事：今 井 英 治
会報委員長：黒 田 幸 英

第 2209 回　例会記録　　No. 12
令和 3 年 10 月 20 日
司会:　伊藤　純　　編集:　近藤　慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング　「それでこそロータリー」
3. ロータリアンの行動規範
4. お客様紹介

株式会社こたか　代表取締役
石川　圭子　様
松井年度　交換留学生
真下　莉奈　様

5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. 雑誌記事紹介
8. お客様挨拶
9. 委員会報告
10. 外部卓話　「看取り士として、石川圭子として」
11. 出席報告

【次回例会案内】 令和 3 年 11 月 24 日
ロータリアンの行動規範
雑誌記事紹介
部門セミナー報告(職業奉仕／青少年奉仕)
IM について／IM ゴルフについて

会長卓話

中澤　伸浩　会長

皆さん、こんにちは。石川圭子様、真下莉奈様、本日はようこそお越し頂きました。

早いもので、そろそろ次々年度の会長候補者を決めなければならない時期になりました。毎年、現年度会長が皆様の方にご相談をさせて頂いています。ということでベテラン会員の方は、どのようなルールで、どのような慣行で次々年度の会長が選出されていくのか良くご存じだと思うのですが、場合によっては私のように詳しい流れ・しきたりに通じていない方がおられるかもしれないと思い、また、自分自身の勉強のためにクラブ細則等を紐解いてみようと思います。

まず、当クラブ細則の第 3 条第 1 節を見ますと、「役員を選挙すべき会合の 1 か月前の例会において、その議長たる役員は、会員に対して、会長(次々年度)、…を指名することを求めなければならない。」と規定されています。「役員を選挙すべき会合」というのは、同細則の第 5 条第 1 節に規定されており、「本クラブの年次総会は毎年 12 月第 2 例会日に開催され

るものとする。そして、この年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。」というものです。そして、「議長たる役員」とは、同細則第 4 条第 1 節に規定されているとおり、会長です。

以上の各規定に則り、私こと会長が、令和 3 年 12 月 8 日に開催される年次総会の 1 か月前の例会として、本日、本例会において、会員の皆様に対し、次々年度の会長の指名を求めるべく、会員の皆さんのご意見を伺いたく、お尋ねさせて頂きました。皆さんいかがでしょうか。

ただ今複数の会員から、会長一任とのご意見を頂戴しました。他の会員の皆様も、全員同意見と伺いました。

それでは私としては、次々年度の会長候補者について指名委員会の指名に従いたいと考えます。つきましては、指名委員会設置準則に基づき、前年度須賀会長に指名委員会の開催に向けてご準備をお願い致します。

以上、次々年度の会長の選出に向けての議を終了させて頂きます。

さて、10 月はこれまで毎週赤 T シャツで例会に臨ませて頂きましたが、いよいよ今週末の日曜日 10 月 24 日は世界ポリオデーということで、クラブではコロナ情勢を踏まえ、駅頭での募金活動は控えさせて頂くことになりましたが、越谷駅東口ツインシティオーロラビジョンにて 10 月 22 日から 25 日までの間、3ペ「END POLIO NOW 越谷北ロータリークラブ」の動画を放映して PR 活動を実施するほか、先日の親睦ゴルフおよび例会において会員の皆さんから頂戴した寄付をクラブよりポリオ基金に寄付させて頂きます。また、地区では小林光則ガバナー補佐が、松本ガバナーを乗せ、クラシックカーラリーに参加予定と伺っています。そして RI 第 2750 地区主催のポリオ根絶ウォークラリー、トレインジャックは RI 第 2770 地区も共催という位置づけでありますので、是非会員の皆さんにて、個々でご参加頂き多数の写真をアップして頂ければと思います。

それでは、本日の例会もよろしくお願いします。

幹事報告

今井　英治　幹事

（地区より）

・地区大会開催方法のご案内が届いております。今年は地区外の登録者は受付しておりません。さらに、コロナ感染拡大に配慮して YouTube でも配信するとの事です。後日、URL が来ますので、届き次第ご連絡させて頂きますので、宜しくお願い致します。当日現地に来られる方は、南浦和駅西口のミスタードーナツ前に 10:30 集合でお願い致します。

現地集合か YouTube 参加の出欠案内を後日 FAX させて頂きますので、幹事今井まで、ご返信宜しくお願い致します。

・地区公共イメージ部門より、トレインジャック PJ（ポリオ根絶ウォークラリー）の集合時間・集合場所のご案内が届いております。10/24 日東京駅（丸の内口）に 13:00 集合で、当日は公共イメージ部門が、2770 地区ののぼりが立っているそうです。出席される方は、宜しくお願い致します。

（クラブより）

・10/24 日ポリオデーです。22 日～25 日まで、越谷駅東口オーロラビジョンにてポリオ動画「エンド・ポリオ・ナウ」が放映されますので、是非ご覧ください。宜しくお願い致します。

本日の幹事報告は、以上になります。

雑誌記事紹介

深野　秀樹　会員

『ロータリーのブランドイメージを築く』

ブランドイメージを統一することは公にロータリーの活動を発信する上でとても重要です。機関雑誌「ロータリーの友」でも、正しく使われていないロゴが映り込む写真は掲載しない方針でしっかりとしたブランドを発信することが重要としています。

皆さんは「ロータリーのロゴ」という言葉を聞いて、どのようなロゴを想像しますか？左にブルーの文字で「Rotary」、その右に黄色い歯車が描かれている公式ロゴが頭に浮かんでくるでしょうか？

しっかりとしたブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティーが欠かせません。これは私たちがロータリーのロゴを正しく使うことで実現されます。

ロゴは一つのデザインであり、塊です。Rotary の文字と誇りのシンボルが一体となって一つのロゴを形成しています。文字とシンボルの大きさ(バランス)も決められています。そのため、公式ロゴを変形したり、一部だけ使用したり、指定された色以外を使うことは禁じられています。

皆さんが例会場に掲げるクラブ旗には、どのようなロゴが入っていますか？この 1 年半ほど新型コロナの影響で外での奉仕活動ができない代わりに、例会場で寄付や寄贈を行ったクラブの記事が新聞で取り上げられることが多くなりました。まだまだ古いロゴが入ったクラブ旗を使っているクラブが多いようです。

メディアに載るということは、一般の人へお知らせするということ。必ず公式ロゴを使うようご注意ください。皆さんはこの 2 色のロゴが昔のロータリーのロゴだと知っていますが、それが分からない新会員や一般の人は、公式ロゴを使っているロータリークラブを見た時に、異なる団体だと思ってしまうかもしれません。

また、国際ロータリー(RI)は、クラブ、地区が公式ロゴだけで使用することを認めていません。このことは多くの方が忘れがちです。クラブ、地区でロータリーのロゴを使用する場合、クラブ名または地区番号を必ず一緒に入れてください。クラブ用、地区用のロゴは、ブランドリソースセンターにあるテンプレートを使って作成できます。協力団体、スポンサー、イベントと共に、ロゴを一緒に使いたい場合には、組み合わせロゴが使用できます。組み合わせロゴを使う場合の規則も、ブランドリソースセンターに準備されています。

ロータリーの公式ロゴだけでなく、ローターアクトやインターアクトにも公式ロゴがあります。同様に規則にのっとった使用を心掛けてください。(ロータリーの友より)

お客様挨拶

松井年度交換留学生　真下　莉奈　様

皆さんこんにちは。お久しぶりです。2016-17 年度フランスに留学させて頂きました真下莉奈です。近況報告をさせて頂きます。去年の夏頃にフランスの友人が日本に来ていまして浅草で観光しました。久しぶりのフランス語で話せなくなっており困りました。その影響でフランスの友人と LINE で連絡をしておりフランス語の勉強を続けています。また、先ほどご案内にありましたが今は星野リゾートで働いています。昨年は「Go To トラベル」があったため結構大変でした。近況

報告でした。ありがとうございました。

委員会報告

米山記念奨学委員会　新沼　徹　委員長

今月は米山月間です。皆様からは奨学金のご寄付を頂いております。全員の方からご寄付を頂きたいと思いますので、まだご寄付をされていない方はご協力をよろしくお願い致します。

外部卓話

株式会社こたか　代表取締役　石川　圭子　様

『看取り士として、石川圭子として』

私は春日部市一ノ割で介護とお看取りの事業を営んでおります。そして今年 1 月より農福連携で農業を始めました。後ほどその経緯をお話しさせていただきたいと思います。

介護やお看取り関わることとなったのは今から約 30 年前に遡ります。30 年前私は、重度心身障害者と言われる方々と共におりました。そして、お若くして亡くなられてしまう障害を持った方々と一緒にいるのが辛くなってしまい、幸齢者の方々のケアに移行すべく、春日部市役所介護保険課に席を移し、嘱託職員として要介護認定調査員のお仕事を担当いたしました。

病院や施設、ご自宅に伺って行うその調査は、その方の置かれている現状が浮き彫りになります。そんな中、ある 2 名の方のお話をさせていただきます。

お一人目は 80 代女性でした。そのご主人は、お口から物を食べられなくなり、胃ろうという経管栄養の管を付けたまま退院されました。そしてご自宅でそのベッドは台所に置かれ、枕はシンクぎりぎりの場所に置かれていました。そのすぐ横でお鍋をグツグツと煮込みながら、女性は私の聴取に対し「うーん」や「いいや」と短くお答えになりました。何とか終了し退室しようと玄関まで行った時、私を追いかけるようにして初めて向かい合わせでこう仰いました。「ホントはね。口から入れたいんだよ」・・・。

そしてもうお一方は、70 代女性でした。調査中ずっと横になられ、壁の方を向かれ何かをしきりに抱え守っているように見えました。そして終了後すくっと立ち上がり、守っていらした布袋を私に差し出して仰いました。「700 万円入っています。どうか預かってください！」と。「こうやって娘夫婦が毎日都内からやって来ては私に入院を迫る。どこも悪くないのに。目当てはこの金なのだ」と。確かに調査のお立会いをされたのは娘さんご夫妻でした。娘さん曰く「母は重い病気で酷い認知症を患っている」と。「だからこうやって都内から毎日母をみに来ている」と。

認定調査員というのは、その方が認知症を患われているのか、そのふりをされているのかは見分けることができます。何故なら沢山の質問事項の中突如として現れる「矛盾」を決して聞き逃さないからです。

私にはその方に認知症を見出すことはできませんでした。また「みに来ている」と仰る娘さんですが、本人の髪はボサボサで、パジャマはボロボロで台所も散らかり、汚れていました。ケアされているといった状況では決してありませんでした。しかし、認定調査員というのは主観で記録してはなりません。まして日頃の状況を把握されているご家族からの聴取には重きを置かれます。

先ほどの 80 代の女性といい、この女性といい。目の前にいる方に直接手を差し伸べられない。私はその時「現場に行きたい」という強い思いにかられました。

そして 5 年間勤めた市役所を辞め、介護事業所を立ち上げました。一人ケアマネに二人のヘルパーさん。小さな会社ですが少しずつ成長し、いつの間にか他社ケアマネさんからのご依頼が弊社の数を超えました。今では 95%強の他社ケアマネさんからの自社を超える利用者様とのお付き合いをさせていただいております。

そんな中でヘルパーとして関わらせていただいた 83 歳 M さん女性のお話をさせてください。

M さんは認知症を患われ、サ高住という高齢者住宅に住んでいらっしゃいました。2、3 分前の事を全て忘れてしまわれるので、ケアプランの内容は、ヘルパーさんと共に行う洗濯、掃除、買い物。そして最後、施設前のベンチに座りタバコを一服吸われるというものでした。そんなケアが 2 年ほど続いたある日、担当ヘルパーさんから電話が入りました。「頭が痛くて今日とても M さん宅に行けません」とのことでした。

2 年間無遅刻無欠勤無早退。頭痛持ちでもない彼女がどうしたのだろう？と心配しながらも彼女を休ませ私が担当。施設に到着すると一枚の申し送り書を施設の方から預かりました。都内にお住いの M さんの娘さんからのものでした。「今日母は風邪気味です。ケア気をつけてください」と書かれてありました。

私は階段を使い三階の角部屋のドアを、「トン、トン、トン」と 3 回ノックしました。すぐに M さんが笑顔で出迎えてくださいました。ところが笑顔の M さんを正面から見てもバイタルを取っても。風邪の症状は皆無でした。通常通りのケアを私は M さんと共に行いました。一緒にお洗濯をし、一緒にお掃除をし、一緒にお買い物に行ったその後、「タバコ、吸いますか？」とお聞きすると「はい！」と M さんに満面の笑顔の花が咲きました。私は施設に預かっていただいているタバコとライターを受け取り M さんに渡しました。いつも通りに慣れた手つきで喫煙される M さんのお姿が、そのお顔がとっても美しく、ポケットから携帯を出してパチっと一枚 M さんのお写真を撮ったほどでした。

そして帰社したその翌日。都内の娘さんから電話が入りました。「昨日のケア時母に何か変わったことはありませんでしたか？」と娘さん。

「風邪気味のご連絡はいただいておりましたが、M さんに症状は全くなく、いつも通りに過ごされ、むせずにタバコも吸われたので特にご連絡もせず申し訳ございませんでした。何かお変わりございましたか？」そう私はお答えしました。すると娘さんは「急に具合が悪くなり入院した」と、仰いました。

そして更に翌日また娘さんから。私は驚いて飛び上がってしまいました。娘さんはこう仰いました。「石川さん、母に最後の一服を、本当にありがとうございました。母は今朝旅立ちました」と。

このように私が呼ばれ、実際お看取りさせていただいたこともありました。しかしこんなに早く、一昨日まで元気にタバコを吸われていた方のこのようなあっという間の最期は初めてでした。M さんはその死に様を持って私達に生き様を見せてくださいました。認知症を患われていても、自己責任でこの世を去られました。

こんなにカッコいい人生の大先輩に私は最期寄り添わせていただきました。こんな見事な大往生をどこで誰が教えてくださるでしょうか。私達は常に利用者様に感謝の気持ちでいっぱいでおります。

倫理のバイブル、この「栞」には。「反始慎終」という頁があります。「見事な死に用をした人は、見事な一生を貫いた人である」とあります。

そしてまた、M さんは教えてくださいました。逝く人は、自身の死をプロデュースできるのだと。あの日、通常通りいつものヘルパーさんが伺がっていたらどうでしたでしょう。「風邪気味」の申し送りを読んだ時点で、M さんのご状態には関係なく、タバコを吸っていただかなかったに違いありません。例え吸っていただいたとしても若い女の子。その後の M さんの急変に、二度とヘルパー職をできなくなってしまったかもしれません。

M さんは、若い彼女に頭痛をきたし全責任を被る指揮官の私に、ご自身の最後を託してくださったのです。

ここで少し看取り学に触れます。人は亡くなる時、必ず「お迎え」が来て全てを受け入れ、神の域に入るのです。自身の死をプロデュースできる大きな力を授かります。そしてその大きなエネルギーを、愛する人に渡すのです。自身の「良い心」「魂」と共に。人は生まれた時、目に見えるこの「身体」と、「見えない良い心と魂」を持って生まれます。そして亡くなる時、その「身体」を脱ぎ捨て、生涯をかけて磨かれた「良い心」と「魂」は、見送る愛する人の中にスポンジのように吸収されます。そうして逝く人も中に入り、そこからまたずーっと一緒に生きていくのです。それが看取り学です。

またあの瀬戸内寂聴さんはその事をこう仰いました。「人は亡くなる時、その傍らにいる人に、25m プール 529 杯もの水を一気に沸騰できるだけのパワーを渡すのだ」と。

2025 年問題も目の前です。毎年毎年 140 万人の方が亡くなる…。奈良県の人口に匹敵する数だそうです。そんなにたくさんの方々の、大切な命を一つ一つ丁寧に送ったら。日本は再び豊かさを取り戻す。2025 年問題は、この国の大きなチャンスに変わる、のではないでしょうか。

どうぞ皆様。ご自身の大切な命を。子や孫に渡して下さい。大きな、大きなエネルギーを渡してください。命のバトンの受け渡しをしてください。私自身、数十名の方のお看取りをさせていただきましたが、看取り学に触れ一番ピタッとあったのが越谷の西方での父の最期でした。間質性肺炎を患い在宅酸素療法となった父は、膵臓が荒れ「絶食」という治療に二度も苦しみました。一気に9kg も体重が落ちてしまうのです。「もう嫌だ。死にたい。入院なんかしたくない」そんな言葉を度々受け私は、看護師である妹と、母の了解を得て父を退院させ、二ヶ月ほど前に奇跡的に出会った尊敬に値する往診医に父を託しました。そして「二度と入院しないで家にいる」「救急車は呼ばない」「一切の服薬をやめる」「酸素もやめる」の父の要望の中、酸素だけは継続するという約束の元、他全てを受け入れた Dr.と私達家族でした。介護ベッドのサービス利用の為、ケアマネさんを依頼。往診医と在宅薬局、ヘルパーの私の娘が入浴介助、キックボクサーの長男、消防士の次男によるマッサージ、母の手作り料理、看護師の私の妹とその娘や孫たちにも癒され、ケアマネとしての見解を持つ私とで、チームとなり父を支えました。

そして、大好きでたまらない愛する母が父に目薬を刺そうと振り向いた数秒の間に、父は逝ってしまいました。でもその 30 分後には、普段全く捕まらない私の子供達 3 人と私が駆けつけました。まだ温かい父の身体を皆で拭き着替えをさせて父の一番のお気に入りのネクタイを長男が丁寧に結びました。妹家族も駆けつけて往診医は都内の赤羽から来てくださり、皆で父に「ありがとう」を伝え続け、「身体に触れて抱きしめて送る」ことができたのです。まるで看取り学で習うそのままでした。そしてまた看取り学で習う通り。自他共に認める、大泣き虫の私は父からのバトンを手にしたことで、父亡きあと、一度も父を想い泣いたことがありません。毎朝のお仏壇で父の声を聞いて出るのですから当然です。そしてその一年後、母が号泣。「圭子！おじいちゃん死んだ時、酸素のチューブ付けてなかったのよ。私が外したと思われるからずーっと言えなかった」と…。「そうだったの。一年もの間、辛かったね。よく話してくれたね。おじいちゃんにはね。お迎えがきたんだよ。だからあーちゃんが後ろを向いている間に自分でチューブを外したの。だって目の前で外したら、またすぐ付けられちゃうでしょ。せっかくお迎えを受け入れたのに、また付けたらまた生きちゃうでしょ！！！」私は母を抱きしめしばらく一緒に泣きました。

看取り士として直近のお看取りのお話です。私は最終の新幹線で名古屋に到着。病院に着くと大声で。元女校長先生のBさんがこれでもか！というほどの大声で叫んでいらっしゃいました。「看取り士を変えてはならーん！」「看取り士は石川圭子。石川圭子。石川圭子だー！！！」と。ご家族は全員疎遠でしたが、ここ最近数十年ぶりに再会したと話されるお兄様が、枕元にいらっしゃいました。私を見て「石川さんですね」とすぐに仰いました。お聞きすればBさんには相当な財産があるとの事。ご結婚はされず生涯教職に就枯れていらしたBさんです。しかしもう丸二日目を瞑って叫ぶのみ。肝心な事を聞いておらず困っていると。私が寄り添わせていただくと、やっと静かにされ私を閉眼のまま認識されたご様子で笑顔と涙をくださいました。そして丸一日と少しの間、私はBさんの未来を、起こりうる奇跡をお話ししました。何度も何度も目を瞑られたままBさんは、私の手を握り笑顔をくださいました…。

やがてその閉眼のままたった二言。「ムクレレ」、「ゴミムシ」と突然仰ったのです。私は一瞬何のことかわかりませんでした。しかしお兄様は瞬時に「ああ…！」とリアクションされました。そして「ありがとうございます！」「ありがとうございます！」「看取り士って、凄いんですね！！！」と仰いました。看取り士が凄いのではありません。長い年月疎遠だったご家族との最期をプロデュースされたBさん。「ありがとう」の暗証番号。命のバトンの受け渡し…。

その後しばらく穏やかな眠りにつかれたので、私は一旦埼玉へ戻りました。そしてその翌日、たった一人お兄様に抱きしめられ、穏やかに旅立ったと連絡をいただきました。たった一人の看取り士を信じてくださったBさんは、私が寄り添わせていただいたことで全てご納得され、お迎えを受け入れられ、最期は（兄と二人で大丈夫だから）と…。私の事情をちゃんと知った上で私に遠距離移動を二度とさせずに逝かれました。

いつの間にか、私達の生活の中から、人の「生」と「死」とが切り離されてしまいました。病院で産まれ病院で死ぬので、誰も命の責任を取らなくなってしまいました。その結果、死とは暗くて怖いもの。「死とは敗北である」と、未だ仰られるお医者様もいらっしゃいます。でも私達の死が敗北ならば、私達は産まれた時から敗北に向かって歩いてきたことになってしまいます。そうではありません。死とは温かく尊い命のバトンの受け渡しの瞬間（とき）なのです。そしてこのプロデュースを、受け取る側もきちんと受けなければなりません。第六感を働かせ、虫の知らせをキャッチするのです。元々あった動物としての第六感が、日々の曇った生活の中失われてしまっているのです。第六感は磨けます。道端に咲く花を見て、その花を引き立たせている茎や葉も見て、その美しさに感動してください。ペットの毛並みに癒され、太陽の陽を浴びて自然に沢山触れてください。看取り学取得の研修で行ったその研ぎ澄まされた生活を、富士山の麓で行う二泊三日の倫理の研修でさせていただきました。

裸足でズボンを膝上までめくり、雪が落ちる砂利道を5分程歩くと、菩提樹の大木があります。その木を一列に皆で囲み、大切な人を思い浮かべるのです。目をつむり合掌して。その結果、昼間の大空に、無数の金色の星々を見たのです。あの菩提樹の空いっぱいにキラキラと輝いた星々を、私は一生忘れることができません。今までに見送った方々や、何代にも及ぶ私のご先祖様方の魂の数だとはっきりとわかりました。見えないはずの魂の存在を、この目に焼き付けた数分間の出来事でした。こうしていつも私を応援してくださっている。感謝しても仕切れないほど、私は「ありがとうございます」を言いつづけました。先に逝かれた方々は。まだこちらにいる私達をいつも応援してくださっているのです。運動会でバトンを渡して。自分の役目は終わったからと、背を向けグランドを後にする人などいないですよね。皆渡した後も「頑張れー！！！」と次の走者を応援すると思います。

天国の方々も同じなのです。応援してくださっているのです。だからたとえ辛いことがあっても。下を向いていたらいけないんです。いつも上を見て笑って。「私は大丈夫。お陰様でこんなに幸せに生きていますよ！」と。笑顔を見せて差し上げないと。心配させてしまうから。

栞の最後の行にはこうあります。「生は死の仮装であり、死は真の永遠の生である」と…。「夢」を聞かれると私はずっと、「笑って死ぬ」と答えて参りました。それには「笑って生きること」。常に笑顔、を今実践しているところでございます。

そして農農業を始めたお話しに移らせていただきます。春日部市内牧という、自然豊かな素晴らしい場所に、2000 坪の農地を手に入れることができました。でも最初は競売に出されたその農地の落札に失敗したんです。最後に滑り込んできた大企業が桁違いの落札を果たし私は悲しみのどん底におりました。既に一年もの間、構想を練ってきた夢だったからです。そんな時、80 歳になり急に身の回りのことができなくなってきた、喧嘩ばかりしてきた母を、私の自宅に呼びしばらく共に生活しました。母はとても喜び、私の部屋を好き放題に変えていきました。それでも何があっても母への笑顔を変えませんでした。そんな日が数ヶ月続きますと。突然亡き父がとても鮮明に夢に出てきました。父は背中を向けていましたが、まるで目の前にいるようでした。私はまさかと父に尋ねましたが、父は何も答えてはくれませんでした。すると。事態は急変したんです。翌日電話がなりました。「落札した大企業が撤退した」そんな情報が飛び込んできたのです。

私は嬉しくて母を車に乗せ急いでその農地に連れていきました。すると母の口から出た言葉は、「圭子！ここね、おじいちゃんと 40 年間も通ったシクラメン屋さんでしょ？」と。

隣町に住んでいた私達家族でしたが、母の言う通りここのシクラメンは大ぶりで長持ちすると有名で。父は毎年沢山買って、会社の上司やお世話になった方々にプレゼントしていたと。父は私の夢を応援してくれていたんです。父の遺言の「母と仲良くね」を守り、共に生活して母を助けてきたことを。母のわがままを受け入れてきたことを。ちゃんと見ていてくれていたんです。子供の頃から「お天道様が見てるからね」と言われてきたことの意味が。しっかりこの時わかったのです。お天道様とは太陽であり、天国にいらっしゃる私を応援してくださっている方々のことだったのです。下を向かないでいつも笑って。ふんわりとやわらかい心を持ち続けて。

明朗、愛和、喜働で人の為に働いて入れば。この目に見える顕界と見えない幽界といつでも繋がることができると全てはひと繋がり何だと痛感した出来事でした。

そして農地初開催した「第一回ねころび内牧ワークショップ」約 40 名の方々が。頭から足先まで泥んこになり温室内の架台を運び出し、敷かれた布を一つ一つビスを抜きながら全て剥がしてくださいました。あっという間に一つのハウスが、使えるようになったんです。夢に向かって必死で走ってきたこの 2 年間。やるぞと決めて一歩も引かず一気呵成にやり抜いてきたから。だから応援者が自然と集まってくださいました。

日本看取り士会柴田久美子会長は、インドのマザーテレサに感銘を受けました。マザーはスラム街で倒れている人々を、「死を待つ人の家カリガート」へ連れてきては身体を綺麗にして一人一人大切に見送りま

した。そして「人生の 99%がたとえ不幸でも、最期の 1%が幸せならば、その人の人生は幸せなものに変わる」そう言い残しています。柴田はその 1%のお手伝いをすべく、現在日本全国、中国、カナダ、韓国に総勢 1200 名の看取り士を排出し、それぞれが活動しているところでございます。

そして笑って逝くために。命のバトンの受け渡しをするために。それには 3 つのことを、私達看取り士はお願いしております。

1. 自分はどこで死にたいのか。
2. 誰に看取られたいのか。
3. どんな言葉を残したいのか。

その 3 つをどうぞご家族やご友人、大切な方と話し合ってください。お元気なうちに。お願いいたします。最後に私達看取り士のたった一つの願いは「全ての人が最期、愛されていると感じて旅立てる社会を」
ご静聴ありがとうございました。

石川様、感動的な卓話をありがとうございました。

スマイル報告

・株式会社こたか代表取締役石川圭子様。本日はお忙しい中お越し頂き卓話を頂戴しありがとうございます。真下さん、ようこそお越し頂きました。これからもお気軽にお越しください。お待ちしています。

中澤　伸浩

・株式会社こたか代表取締役石川圭子様、松井年度交換留学生真下莉奈様ようこそ‼本日宜しくお願い致します。

今井　英治

・石川圭子様、真下莉奈様ようこそ！本日卓話よろしくお願い致します。

山本　正乃　松﨑　義一　大熊　正行
青木　清　須賀　篤史　伊藤　純　松井　昭夫

・新型コロナの感染者が減少傾向にありこのまま終息することを願っています。石川圭子様、卓話よろしくお願い致します。

鈴木　英男

・ご報告遅くなり申し訳ございません。9 月 30 日にコロナ感染したため陽性解除証明書を持っていますが 10 月中は大事をとってお休みさせて頂きます。家族、従業員共々感染拡大する事なく軽症ですみホッとしています。皆様もご自愛いただきお会い出来る日を楽しみにしています。

渡辺　裕介

・久し振りの例会です。早くコロナが終息します様に。

髙橋　忠克

・お久しぶりです。

会田　謙二

・本日も例会よろしくお願い致します。

中村　隆雄

出席報告

会員数	43 名
出席者	27 名
出席率	77 %

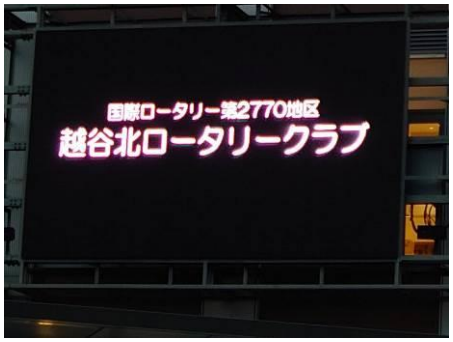
第2210回例会　世界ポリオデー

2021-22 年度　ロータリー奉仕デー（世界ポリオデー）

◆越谷北ロータリークラブ

10 月 24 日、越谷北 RC は越谷駅東口オーロラビジョンに『End Polio Now』を放映しました。

大画面モニターに『End Polio Now』が放映。



越谷北 RC の名前もしっかり出ます！

佐藤要会員も颯爽と出発しました！

木村二夫さんもいらっしゃいました！

大宮パレスホテルでゴール！

◆2770 地区

『ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー』

(ルート) 大宮氷川神社～川越蔵造り通り～天空のポピー～秩父番場通り～秩父市役所～秩父ミューズパーク～秩父市役所～パレスホテル大宮

小林光則 G 補佐の車には、ガバナーも乗車。

『トレインジャック PJ～ウォークラリー』

第 2750 地区主催、丸の内仲通りを東京駅川から有楽町前広場まで「END POLIO NOW」の赤い T シャツとマスクを身に着けてゆっくりと歩くイベント。

セレモニーは有楽町駅前で実施されました。

通行者も歩みを止めて参加しています。

参加者が続々と会場に集まっています。

沢山のロータリアンやご関係者が歩きました。

第 2770 地区ではのぼりを用意して移動しました。

2021-22年度　地区大会

(1 日目)RI 会長代理を招いての晩餐会が開催。

至:ロイヤルパインズホテル浦和

平和フェローの活動について講演が行われました。

松本ガバナーも質問を投げかけました。

小林操 PG と中澤会長も参加しました。

小林光則 G 補佐も出席しました。

（2 日目）

第 2770 地区本大会が開催されました。コロナ対策のため YouTube 同時配信も行われました。

至:さいたま市文化センター

2021-22 年度本大会が開催されました。

RI 会長代理松本進也様からご指導頂きました。

会場外ではクラシックカーが展示されました。

クラシックバイクも展示されていました。

小林操 PG が国際大会の案内を行いました。

米山記念奨学生の紹介は沢山の方が挨拶しました。

淑徳与野高等学校学生による合唱は圧巻でした。

細淵 G エレクトもご挨拶しました。